



AJISU

1981 10/5
No.358

広報あじす 毎月5日 発行

お知らせ版 每月20日 発行

山口県吉敷郡阿知須町

発行 阿知須町役場

電話 4111番代 754-12

印刷 よしの印刷株式会社



空き缶拾ってタリーン作戦 ポイ捨て防止を呼びかける

これより先、町の職員が十日ばかり前に国道一九〇号線沿い約四キロの両側を拾つて歩いたときは町のごみ袋に十三杯もありました。

最近では、田畠や川への投げ捨ても増えており、「投げ捨て防止」に対するドライバーの意識に期待したいものです。

(写真は呼びかけや空き缶拾いをする人たちと集められるごみ袋)

「空き缶のポイ捨てはやめよう」のクリーン作戦を開催。環境衛生期間中の九月二十四日、県下一斉に「空き缶投げ捨て防止運動」が展開されたのに伴い、町環境衛生組合が呼びかけと空き缶拾いをしました。

阿知須町は「十三」と「十四」の二日間にわたって七百五十人が参加し、町内八ブロックに分れて空き缶を拾つてまわりました。道路の法（のり）や草むらに捨ててある空き缶を回収する参加者の中からは、「こねーに多いとは思わんかったね」という声も聞かれました。そして、参加者が手にした町のごみ袋がまたたく間にいっぱいとなるところもありました。集められたごみ袋は岡山焼却場へ運ばれました。が、わずか二時間ずつの回収にもかかわらず二トン積みトラック五台分あり一同を驚かせました。



勤労者体育センターに着工 来春3月の完成めざして

町では体育センター（体育館）を建設するため準備を進めていましたが、町議会の議決を得て九月三十日に着工、来年三月二十日完成をめざして工事を進めています。

この体育センターは勤労者の健康保持により福祉増進をはかりうとするもので、労働省の外郭団体の雇用促進事業団と町が建設費を出し合い、合算するものです。

境内に時計館更側の附有地
鉄筋コンクリート二階建、延べ
面積千三百九十四・六八平方メ

一億二九十九万円です。そのほか付帯工事として六百五十万円を予定しています。

一トロ。建築費一億八千二百五
十万円。施工業者は勤労者体育
センターを県内で一ぱん多く手
がけている末延組（熊毛町）で
す。工事費の内訳は雇用促進事

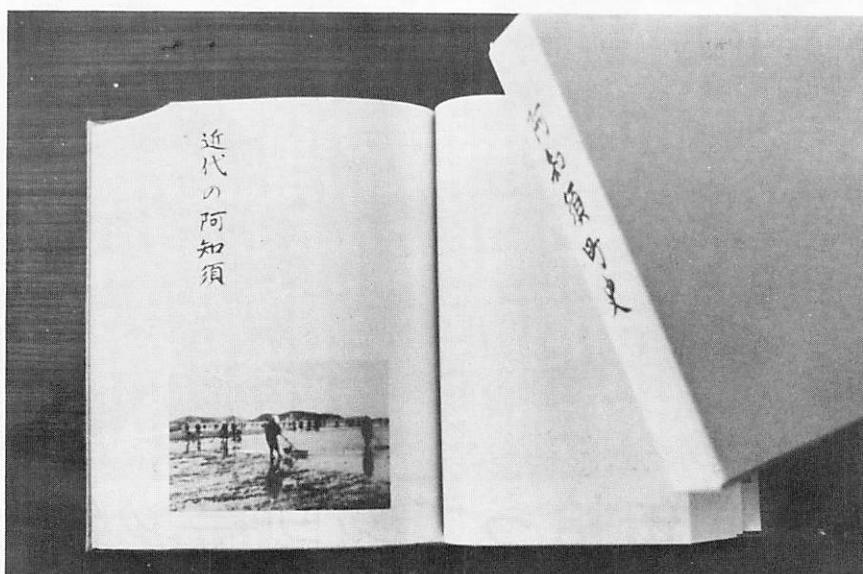
ト製品を使いますが、これは最
身障者の便所、シャワーなどつ
き、二階は卓球室です。
屋根は波型の鉄筋コンクリー
ンチ。事務室、便所、更衣室、
近のドイツの特許製品です。
今後の利用は町民のものとし
て多くの人が使えるよう運営
する予定です。

須の自然」「原始・古代」「上代・中世」「近世」「近代」「現代」「現人物」の十章からなつています。



阿知須町史を刊行

各家庭に無料配布



▲出来あがった町史

中本成紀さん
岩根妙子さん が入選

ことしの山口県美術展は九月二十四日から十月四日まで山口市の県美術館で開かれましたが、今回は本町から彫刻の部と工芸の部にそれぞれ一人入選しました。同展はことで三十五回でした。ですが、本町から初入選が一人出たのははじめてです。

——岩前・五月に東京へ転出——は
大理石の作品「マグマ」で優秀
賞でした。阿知須中学、山口高
東京造形大を卒業して彫刻のた
めイタリアへ四年半留学、こと
し帰国して再び彫刻の勉強のた
め上京。その間、国画会展に三
回入選するなど彫刻家として囁
き声をしていました。

町では阿知須町史の刊行をめざして昭和四十九年から町史編さん事務局を設け、作業を進めきましたが、印刷もでき上り

近く、各家庭へ無料でお配りします。

回入選するなど彫刻家として囁
望されています。

10月11日～20日 全国防犯運動 お宅の 防犯チエックは？



行楽の秋、実りの秋を迎えて家族そろって出かけ、家をあける機会も多くなり、留守宅をねらう空き巣などの被害が多くなります。

ドロボウは家人に発見されることによって強盗に変ることがあります。たいへん危険です。

全国平均でみると、約一分五十秒ごとに、一般住宅や事務所店舗などが、いわゆる侵入ドロボウの被害にあい、一件当たり約十万円の損害を被っています。

町内では今年になって八月までに八件の家宅侵入の盗難が発生、小郡警察署管内では百二件とこども、侵入盗には三つの犯罪手口があります。

空き巣など屋内に侵入するドロボウは家人に発見されることが多い、ついで強盗に変ることがあります。たいへん危険です。

忍び込み・夜間の就寝時に侵入する

居空き……在宅時に侵入する十月十一日から二十日まで、「全国防犯運動」が行われます。運動の重点は①侵入盗の防止②

受け取ろう！公給領収証

料理店・バーなど利用の際



十月は料理飲食等消費税「公給領収証受領交付強調月間」です。

料理飲食等消費税は、みんなが料理店・バー・旅館・飲食店などを利用された時にかかる税金で、経営者がその税金を料金といつしょに受け取り、県へ納めます。これを円滑に行うため、「公給領収証制度」が設け

られています。つまり、公給領収証は、みなさんが税金を県に納められたことを証明するものです。

料理店やバーなどを利用した時は必ず公給領収証を受け取りましよう。

税率などのあらましは次のとおりです。

◎飲食店・バー・キヤバレーで

は料金の…………… 10 — 100

◎旅館の宿泊では一人一回の料金が二千円を超えるとき、料

金の…………… 10 — 100

◎旅館の宴会などは料金の…………… 10 — 100

二（繩南）蔵藤和義（繩北）村田造三（中村）繩田重光・西条

（西村洋太郎）（浜）磯金明二（砂二）西村洋太郎（砂三）磯部敏雄（飛石）村田賢一（沖の原）

田辺敦雄（岩西）倉光辰見（岩前）池田敦治（岩西前）徳永勝

美（岩辺）上野実（岩上）中村優照（旦東）繩田信雄（旦西）

伊藤孝（旦北）竹重方一（門松）

松崎勝正（岡）古谷一成（浜表）

弘中一男（赤迫）福富新治（井

関）藤谷高鑑（野口）久都内博

嗣（枝川）長尾正一（河内）国

緒ください。指導員は次の人々

です。（敬称略）

繩中勝人（小東）浅海福次（小

西）武安勝（小南）伊藤和彦（前

山）林章一（北祝）酒井好孝（南

祝）三浦清治（恵比須）大沢義

雄（築地）伊藤清（東）三宅謙

（焼野）

侵入ドロボウは人と接触を極

度に避けますので、このひと

声が防犯に役立ちます。

△長く家をあけるときは配達を中

止せるようになります。

△長く家

15日 14日 12日 9日 11月 12月 13日 14日 15日 16日 17日
 賞金・保険の日 (阿知須小) 校内科学発表会 集金日(PTA費後期分) ジフテリア予防接種(六年)
 のぼくの学校 わたしの学校

秋が深まっています。野菜や果物が豊富に出回り、献立のレパートリーも広く、食卓も賑やかになりますが、ちがう時期です。食欲も増し、つい食べ過ぎて肥満することになります。私たち夫婦も最近、太ってきて減量に努めなくてはならなくなりました。そうなると、おのずと食べ物に気を配るようになります。

普通、栄養を考える場合、四つの食品群による栄養バランスがいわれていますが、年

秋が深まっています。野菜や果物が豊富に出回り、献立のレパートリーも広く、食卓も賑やかになりますが、ちがう時期です。食欲も増し、つい食べ過ぎて肥満することになります。私たち夫婦も最近、太ってきて減量に努めなくてはならなくなりました。そうなると、おのずと食べ物に気を配るようになります。

普通、栄養を考える場合、四つの食品群による栄養のバランスがいわれていますが、年

味噌づくりには
焼酎使用が“ミソ”

栄養推進員ペンリレー⑧



年齢や高血圧のことを考えて脂肪、糖質、塩分をとり過ぎないよう

活動の激しい青年期ごろまで

は糖質をよくとり、年を重ねると脂肪、特に動物性脂肪をとり過ぎぬよう、塩分も過ぎると高血圧や腎臓に悪いので控えるよ

うにしたいものです。

味噌、漬物は和食に欠かせま

せんが、意外に塩分が多いもの

です。そこで最近は味噌の塩を少なくして作る方法が考えられ

ているようです。ちょうど味噌

づくりの時期ですので私の家で

こし仕込んだ方法を紹介させ

ていただきたいと思います。

麦八升、大豆二升、塩一・七

キロ(一合一勺弱) 粕取り

焼酎三合、大豆煮汁二合。

これが標準量です。焼酎を使う

ところが“ミソ”です。塩の量

は早い時期に食べるか長く保存

するかで加減します。

麦八升、大豆二升、塩一・七

キロ(一合一勺弱) 粕取り

焼酎三合、大豆煮汁二合。

ふれあい 広場

「ふれあい広場」はみんなのページです。
町政への提言や身近かな話題、絵画、写真など町企画室（有線二四一）へお寄せください。

阿知須町将棋同好会

はりきってます (((((○)))|)|)| グループ紹介

基本からの研究がテーマ

阿知須町将棋同好会は、昨年十一月に発足し、ようやく一年になろうという若々しい会です。会員は現在三十八人です。当初は駒の動かし方しか分からなかつた人もおりましたが、毎月第三日曜の練習や対外試合（七月・宇部スレート戦）等で実力の向上は確実なものが見受けられます。しかし単に縁台将棋の如く勝つことだけを追求する傾向が多少感じられるので今後は、

月一回夜七時から将棋教室を設



連絡先＝中野
康世（繩田北・
町役場）

け、将棋の基本から研究しあうことを利用して、よく将棋の差し方でその人の性格が分かると言いますが、先天を見る洞察力、じっくり落着きのある判断力、ねばり強い持久

それも真剣に楽しむことにより持久力等も養えます。

「樂しまなければ結構、しかし時には苦しまう」

一ガンが同好会に定着しつつあります。会員一同新人の方の加入を切望しております。

長谷川さつき
窓を吹く風に誘はれ来し吾の眼
にコスモスの露光り居り

大喜びのお年寄り

町敬老会で演芸など楽しむ

ことしの町敬老会は九月十五日午前九時から町公民館で約四百五十人（該当者七百九十九人）のお年寄りが出席して開かれました。

式典は物故者への黙とう、町長のあいさつのあと、八十歳以上のお年寄りに敬老基金の証書交付や九十歳以上のお年寄りの記念品の贈呈がありました。

また、来賓の祝辞に統一して、

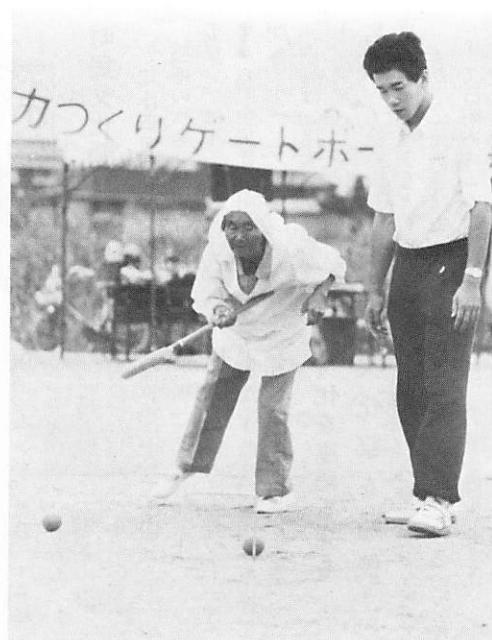
兼重厚子さん（井関小一年）、松代安司君（阿知須小一年）、八木沢道子さん（阿知須中一年）の三人が作文を朗読、お年寄りの代表松岡孫九郎さん（砂二）がお礼のことばを述べて幕をとじました。

短歌	
松尾 君代	教はりしままに片栗くるませて
朝のくりやに南瓜煮てをり	立網を終へて見上げる中空に
藤重 アヤ子	おぼろに小さし十五夜の月
平海 アサノ	吾がつとめにお水取り替へ仏前
中本 幸子	に一日始まる香煙る中
師井 泰枝	穂ばらみに走り穂見ゆる田に入
来てみれば署き日の中に青黒し	りて娘と吾と稗抜きて行く
正司 ウメノ	立網を終へて見上げる中空に
木原百合雄	朝のくりやに南瓜煮てをり
山こへて山和路を行く	藤重 アヤ子
砂村 ヤス子	日焼けしたる額の汗をぬぐひつ
渡辺 宮子	つれモン嗜み居り娘は帰り来て
長谷川 さつき	八月の満月に近き月高く歯に浸
三吉 琴	みとほる桃を喰みをり
中本 幸子	立網を終へて見上げる中空に
師井 泰枝	おぼろに小さし十五夜の月
来てみれば署き日の中に青黒し	吾がつとめにお水取り替へ仏前
正司 ウメノ	に一日始まる香煙る中
木原百合雄	穂ばらみに走り穂見ゆる田に入
山こへて山和路を行く	りて娘と吾と稗抜きて行く
砂村 ヤス子	立網を終へて見上げる中空に
渡辺 宮子	朝のくりやに南瓜煮てをり
長谷川 さつき	藤重 アヤ子
三吉 琴	日焼けしたる額の汗をぬぐひつ
中本 幸子	つれモン嗜み居り娘は帰り来て
師井 泰枝	八月の満月に近き月高く歯に浸
来てみれば署き日の中に青黒し	みとほる桃を喰みをり
正司 ウメノ	立網を終へて見上げる中空に
木原百合雄	おぼろに小さし十五夜の月
山こへて山和路を行く	吾がつとめにお水取り替へ仏前
砂村 ヤス子	に一日始まる香煙る中
渡辺 宮子	穂ばらみに走り穂見ゆる田に入
長谷川 さつき	りて娘と吾と稗抜きて行く



▲長生きはするもんじゃね

▶ゲートを通ってください！



体力づくりゲート ボールの結果

九月十日（雨のため十二日も行わられた）の体力づくりゲート

ボール大会の結果は次のとおり。
①寿々芽会（源河河内）②若倉第一老人会③松風会（西条）
敗者復活戦①飛沖龍神会B②小古郷和老会③飛沖龍神会A

アザミが岳を踏破

野外スポーツ教室

町教育委員会主催の第3回野外スポーツ教室は9月20日、都濃郡鹿野町のアザミが岳に登りました。参加者はちびっこからお年寄りまで63人で、途中にはクサリを使って登る所もありましたが、一人の落伍者もなく頂上までたどりつけました。また、下山してからは登山の疲れをいやそうと全員がソーメン流しを楽しみました。



▲もう少しだがんばるぞー

六月から八月にかけて行われた手話講習会の卒業生が集つて阿須手話サークル友の会（会員四十二人）を結成、その会長に推された。

会長になつた感想は「不安じやけどみんなに頼まれたので…」しかし、やるからにはみんなに手助けをしてもらい、乗り切つていかんにやあいけんと思つています。そのためには、私から



漁業振興をはかるうとするもので

あさり貝の増殖へ 試験圃を設置

漁業協同組合では町および水産試験場の協力を得て干拓（第一樋門と第二樋門の間）の沖百メートルの所にあさり貝の養殖試験圃を設け、あさり貝の増殖をめざしています。

試験圃は土のうを三十メートル間隔、長さ五十メートル築いて砂の流れを止め、その中と周辺に、笹竹（高さ一メートル五センチ）四列と割竹（高さ一メートル）三列の合計七列を一列三十メートルの長さで立てています。

この竹で海中遊泳の胞子の付着を試み、観察しながら年次的に貝の増殖をばかり、漁

奉仕の心を持つて一生懸命
手話サークル友の会会長

藤井明子さん

—南祝区・看護婦—



長。職業柄、身体の不自由な人たちと接することが多く、「今年は国際障害者年であり、勤めながら何かすることはいか、少しでもそついう人たちの手助けができることがあれば…」と思っている所に、手話講習会のあることを知り入った訳ですね」というのが手話をはじめた動機とのこと。

「手話講習会には一日も欠かさず出席したが、三ヶ月やつて

勉強をせんにやあいけんと思つてゐるんです」

藤井さんはいま共立病院の婦

もなかなか覚えられんので、手話サークルができてよかったですと思つります」

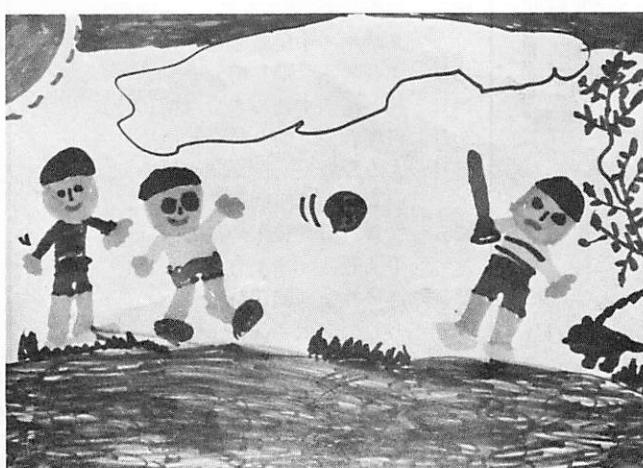
これから友の会の運営や活動については「年内は今までの復習をして、会員どうしだけでも手話ができるようせんにや

が広がる。藤井さんにとってボランティアとはとの問いには「大変むかしいが、私が自分の体で一生懸命接して話をしたりすることですね」とのこと。最後にまた「一生懸命がんばりますいね」と言葉に力が入ります。家に帰れば五百鉢の盆栽づくり。経験は十六・七年とのことです。二十代から短歌もたしなみ、なかなか多趣味である。孫が一人ありますね」と奉仕への夢を語る。

「将来は、よその手話サークルとの交流や、サークル同志のキャンプ、福祉施設への慰問などもしたいですね」と奉仕への夢を語る。

「やきゅう」

砂郷保育園 たけもりひでかず(6歳)



お知らせ

町民文化祭への作品

二十四日までに町教委へ
芸術の秋を迎え、町と町教育委員会では十一月一日午後零時半から町公民館で町民文化祭を開きます。

内容は三階大講堂で式典のあと、闘鶏踊りや代神樂、その他岩倉子ども会、あじのす大学の老人による演芸などを行います。

また、二階大會議室・三階口ビーでは町内の人々による出品作品が展示されます。展示される作品は絵画・はり絵(幼稚園・保育園)・絵画・書道(小中学生)・洋裁・和裁、

目で見る県政教室

申込みは十三日まで

県では第十二回「目で見る県政教室」を十月二十三日(金)に実施します。

今回の見学場所は防府市あかり園、宇部市南風荘、山口宇部空港の三か所。対象者は山口市、防府市、吉敷郡の成人者です。当時は午前七時二十分までに小郡駅(在来線口)に集合のこと。参加料は昼食代として五百円。定員が五十人なので、希望者が多い時は抽選となります。

申込みは十月十三日(火)までに、ハガキに住所、氏名、年齢、職業を書いて山口県庁広報課(山口市滝町一丁目・電話山口②三二一一)、「目で見る県政

山東省物産展

招待券があります

中国国際貿易促進委員会山東

分会と山口県日本友好協会

では十月二十日から二十八日ま

で山口市の山口県体育館で中華

人民共和国山東省物産展覧会を

文芸、書道、写真、手芸、造花、陶芸、ペン字、盆栽、すみ絵、ふるさと学習の工作品など。主催者側ではみなさんの応募をお待ちしています。応募の締め切りは十月二十四日(土)午前中。

作品の搬入は十月三十一日(土)午前の午前十時まで。出品票には氏名・作品名を明記してください。

文化祭を高める会も

阿知須の文化を高める会でも

十一月一日から三日まで町公民館で文化祭を開催します。

展示物は文芸、菊花、盆栽が一日から三日まで。生花は三日のみ展示されます。

また、同じく三日には三階大

15	15	14	13	13	13	13	13	13	11	11	11	10	10	10	9	9	時
20	00	40	50	50	30	10	00	40	20	20	00	40	20	00	40	30	間

講堂で芸能大会も開かれます。芸能大会の演技グループと演芸時間は次のとおり。

(出演団体)

さつき会(合唱)

吟友会(詩吟)

照山会(詩吟)

阿知須中ブラスバンド

ぶどうの実(演劇)

花城会(舞踊)

鴻峯(詩吟)

吟山会(詩吟)

ブルーベンゼル(器楽)

歌謡クラブ(歌)

真吟流(詩吟)

ブルーベンゼル(器楽)

歌謡研究会(唄)

10月のメモ																	
13日	育児相談(後1時半)																
15日	交通事故相談(前10時)																
20日	心配ごと相談(前10時)																
	1歳6か月児健康診査(後1時半)																
	三種混合(後2時半)																
	(会場の記入のないのは役場)																

公民館メモ

13日	婦人学級(前9時半)
14日	若い母親の一日教室(前9時半)
	成人大学講座(行7時)
15日	おかし教室(前9時半) 陶芸教室(前9時半・中尾正志宅)
16日	洋裁教室(前10時)
18日	親と子の本読みの会(前10時)
20日	料理教室(前9時半)
21日	すみ絵教室(前9時半)
	成人大学講座(後7時)
22日	盆栽教室(後1時半)
	手芸教室(後1時半)
23日	洋裁教室(前10時) あじのす大学(後1時半)

今月の納税

- 町県民税
- 国民健康保険税

日時: 十月十四日(水)	午前九時半から
内容: 講演・個人相談など	
場所: 町公民館	

出生(おすこやかに)	△香典返し▽五万円=藤田源式さん(飛石)は母ミキさん
親の名(続柄子の名)	月日: 朝
山中久人(男) 学人(女)	月日: 朝
松重森男(長男)	月日: 朝
秋本英美(長男)	月日: 朝
吉村正美(二男)	月日: 朝
上野進(三女)	月日: 朝
岡本敏文(長女)	月日: 朝
石川俊昭(二女)	月日: 朝
早瀬達之(和夫)	月日: 朝
松重森男(陽介)	月日: 朝
秋本英美(義典)	月日: 朝
竹原陽滝(門松)	月日: 朝
吉村正美(良一)	月日: 朝
上野進(順子)	月日: 朝
岡本敏文(西条)	月日: 朝
石川俊昭(聰美)	月日: 朝
早瀬達之(飛石)	月日: 朝
松重森男(松)	月日: 朝
秋本英美(門松)	月日: 朝
吉村正美(西条)	月日: 朝
上野進(西条)	月日: 朝
岡本敏文(西条)	月日: 朝
石川俊昭(西条)	月日: 朝
早瀬達之(西条)	月日: 朝
松重森男(西条)	月日: 朝
秋本英美(西条)	月日: 朝
吉村正美(西条)	月日: 朝
上野進(西条)	月日: 朝
岡本敏文(西条)	月日: 朝
石川俊昭(西条)	月日: 朝
早瀬達之(西条)	月日: 朝
松重森男(西条)	月日: 朝
秋本英美(西条)	月日: 朝
吉村正美(西条)	月日: 朝
上野進(西条)	月日: 朝
岡本敏文(西条)	月日: 朝
石川俊昭(西条)	月日: 朝
早瀬達之(西条)	月日: 朝
松重森男(西条)	月日: 朝
秋本英美(西条)	月日: 朝
吉村正美(西条)	月日: 朝
上野進(西条)	月日: 朝
岡本敏文(西条)	月日: 朝
石川俊昭(西条)	月日: 朝
早瀬達之(西条)	月日: 朝
松重森男(西条)	月日: 朝
秋本英美(西条)	月日: 朝
吉村正美(西条)	月日: 朝
上野進(西条)	月日: 朝
岡本敏文(西条)	月日: 朝
石川俊昭(西条)	月日: 朝
早瀬達之(西条)	月日: 朝
松重森男(西条)	月日: 朝
秋本英美(西条)	月日: 朝
吉村正美(西条)	月日: 朝
上野進(西条)	月日: 朝
岡本敏文(西条)	月日: 朝
石川俊昭(西条)	月日: 朝
早瀬達之(西条)	月日: 朝
松重森男(西条)	月日: 朝
秋本英美(西条)	月日: 朝
吉村正美(西条)	月日: 朝
上野進(西条)	月日: 朝
岡本敏文(西条)	月日: 朝
石川俊昭(西条)	月日: 朝
早瀬達之(西条)	月日: 朝
松重森男(西条)	月日: 朝
秋本英美(西条)	月日: 朝
吉村正美(西条)	月日: 朝
上野進(西条)	月日: 朝
岡本敏文(西条)	月日: 朝
石川俊昭(西条)	月日: 朝
早瀬達之(西条)	月日: 朝
松重森男(西条)	月日: 朝
秋本英美(西条)	月日: 朝
吉村正美(西条)	月日: 朝
上野進(西条)	月日: 朝
岡本敏文(西条)	月日: 朝
石川俊昭(西条)	月日: 朝
早瀬達之(西条)	月日: 朝
松重森男(西条)	月日: 朝
秋本英美(西条)	月日: 朝
吉村正美(西条)	月日: 朝
上野進(西条)	月日: 朝
岡本敏文(西条)	月日: 朝
石川俊昭(西条)	月日: 朝
早瀬達之(西条)	月日: 朝
松重森男(西条)	月日: 朝
秋本英美(西条)	月日: 朝
吉村正美(西条)	月日: 朝
上野進(西条)	月日: 朝
岡本敏文(西条)	月日: 朝
石川俊昭(西条)	月日: 朝
早瀬達之(西条)	月日: 朝
松重森男(西条)	月日: 朝
秋本英美(西条)	月日: 朝
吉村正美(西条)	月日: 朝
上野進(西条)	月日: 朝
岡本敏文(西条)	月日: 朝
石川俊昭(西条)	月日: 朝
早瀬達之(西条)	月日: 朝
松重森男(西条)	月日: 朝
秋本英美(西条)	月日: 朝
吉村正美(西条)	月日: 朝
上野進(西条)	月日: 朝
岡本敏文(西条)	月日: 朝
石川俊昭(西条)	月日: 朝
早瀬達之(西条)	月日: 朝
松重森男(西条)	月日: 朝
秋本英美(西条)	月日: 朝
吉村正美(西条)	月日: 朝
上野進(西条)	月日: 朝
岡本敏文(西条)	月日: 朝
石川俊昭(西条)	月日: 朝
早瀬達之(西条)	月日: 朝
松重森男(西条)	月日: 朝
秋本英美(西条)	月日: 朝
吉村正美(西条)	月日: 朝
上野進(西条)	月日: 朝
岡本敏文(西条)	月日: 朝
石川俊昭(西条)	月日: 朝
早瀬達之(西条)	月日: 朝
松重森男(西条)	月日: 朝
秋本英美(西条)	月日: 朝
吉村正美(西条)	月日: 朝
上野進(西条)	月日: 朝
岡本敏文(西条)	月日: 朝
石川俊昭(西条)	月日: 朝
早瀬達之(西条)	月日: 朝
松重森男(西条)	月日: 朝
秋本英美(西条)	月日: 朝
吉村正美(西条)	月日: 朝
上野進(西条)	月日: 朝
岡本敏文(西条)	月日: 朝
石川俊昭(西条)	月日: 朝
早瀬達之(西条)	月日: 朝
松重森男(西条)	月日: 朝
秋本英美(西条)	月日: 朝
吉村正美(西条)	月日: 朝
上野進(西条)	月日: 朝
岡本敏文(西条)	月日: 朝
石川俊昭(西条)	月日: 朝
早瀬達之(西条)	月日: 朝
松重森男(西条)	月日: 朝
秋本英美(西条)	月日: 朝
吉村正美(西条)	月日: 朝
上野進(西条)	月日: 朝
岡本敏文(西条)	月日: 朝
石川俊昭(西条)	月日: 朝
早瀬達之(西条)	月日: 朝
松重森男(西条)	月日: 朝
秋本英美(西条)	月日: 朝
吉村正美(西条)	月日: 朝
上野進(西条)	月日: 朝
岡本敏文(西条)	月日: 朝
石川俊昭(西条)	月日: 朝
早瀬達之(西条)	月日: 朝
松重森男(西条)	月日: 朝
秋本英美(西条)	月日: 朝
吉村正美(西条)	月日: 朝
上野進(西条)	月日: 朝
岡本敏文(西条)	月日: 朝
石川俊昭(西条)	月日: 朝
早瀬達之(西条)	月日: 朝
松重森男(西条)	月日: 朝
秋本英美(西条)	月日: 朝
吉村正美(西条)	月日: 朝
上野進(西条)	月日: 朝
岡本敏文(西条)	月日: 朝
石川俊昭(西条)	月日: 朝
早瀬達之(西条)	月日: 朝
松重森男(西条)	月日: 朝
秋本英美(西条)	月日: 朝
吉村正美(西条)	月日: 朝
上野進(西条)	月日: 朝
岡本敏文(西条)	月日: 朝
石川俊昭(西条)	月日: 朝
早瀬達之(西条)	月日: 朝
松重森男(西条)	月日: 朝
秋本英美(西条)	月日: 朝
吉村正美(西条)	月日: 朝
上野進(西条)	月日: 朝
岡本敏文(西条)	月日: 朝
石川俊昭(西条)	月日: 朝
早瀬達之(西条)	月日: 朝
松重森男(西条)	月日: 朝
秋本英美(西条)	月日: 朝
吉村正美(西条)	月日: 朝
上野進(西条)	月日: 朝
岡本敏文(西条)	月日: 朝
石川俊昭(西条)	月日: 朝
早瀬達之(西条)	月日: 朝
松重森男(西条)	月日: 朝
秋本英美(西条)	月日: 朝
吉村正美(西条)	月日: 朝
上野進(西条)	月日: 朝
岡本敏文(西条)	月日: 朝
石川俊昭(西条)	月日: 朝
早瀬達之(西条)	月日: 朝
松重森男(西条)	月日: 朝
秋本英美(西条)	月日: 朝
吉村正美(西条)	月日: 朝
上野進(西条)	月日: 朝
岡本敏文(西条)	月日: 朝
石川俊昭(西条)	月日: 朝
早瀬達之(西条)	月日: 朝
松重森男(西条)	月日: 朝
秋本英美(西条)	月日: 朝
吉村正美(西条)	月日: 朝
上野進(西条)	月日: 朝
岡本敏文(西条)	月日: 朝
石川俊昭(西条)	月日: 朝
早瀬達之(西条)	月日: 朝
松重森男(西条)	月日: 朝
秋本英美(西条)	月日: 朝
吉村正美(西条)	月日: 朝
上野進(西条)	月日: 朝
岡本敏文(西条)	月日: 朝
石川俊昭(西条)	月日: 朝
早瀬達之(西条)	月日: 朝
松重森男(西条)	月日: 朝
秋本英美(西条)	月日: 朝
吉村正美(西条)	月日: 朝
上野進(西条)	月日: 朝
岡本敏文(西条)	月日: 朝
石川俊昭(西条)	月日: 朝
早瀬達之(西条)	月日: 朝
松重森男(西条)	月日: 朝
秋本英美(西条)	月日: 朝
吉村正美(西条)	月日: 朝
上野進(西条)	月日: 朝
岡本敏文(西条)	月日: 朝
石川俊昭(西条)	月日: 朝
早瀬達之(西条)	月日: 朝
松重森男(西条)	月日: 朝
秋本英美(西条)	月日: 朝
吉村正美(西条)	月日: 朝
上野進(西条)	月日: 朝
岡本敏文(西条)	月日: 朝
石川俊昭(西条)	月日: 朝
早瀬達之(西条)	月日: 朝
松重森男(西条)	月日: 朝